

大地震に負けないスカウト精神の発揮を



公益財団法人ボースカウト日本連盟
理事長 奥島 孝 康

3月11日に東北地方の沿岸を震源域とする未曾有の大地震が発生して、広い範囲で甚大な被害が出ています。

この地震と津波のために亡くなられた方に衷心よりお悔やみ申し上げるとともに、被害に遭われた方々に謹んでお見舞い申し上げます。

振り返れば、我が国は近年でも阪神淡路大震災、新潟県中越地震ほか台風など数多くの自然災害を乗り越えて復興を果たしてきました。

今回の災害で被害に遭われている皆さんの中には、大事なご家族を失われた方々、長年住みなれたご自宅を失われた方々もいらっしゃいます。また、未だ自宅周辺に立ち寄りず避難先等での不自由な生活が続くなどの厳しい環境下にある方々も多くいらっしゃると思います。被害に遭われた皆様には、どうぞ、健康に注意されるとともに、こうしたときこそ持ち前の力を発揮され、困難に負けず、力強く立ち向かってくださるよう心からお願い申し上げます。

スカウトのみなさん。私たちは地震で被害に遭われた多くの方々に対して、私たちができる方法で援助の手を差し伸べようではありませんか。地震で被害に遭われているの方々に対し、私たちが何ができるか考え、皆で話し合ってください。例えば募金活動という方法もあるかもしれません。また、一人ひとりが節電に心がけることも大きな協力となります。スカウトとして何よりも大事なことは、スカウトとしてできることを考え、そしてそれを実行することです。それがスカウト精神の発揮であり、「ちかい」と「おきて」の実践なのです。

日本連盟には、スカウト関係者から現地に赴いての救援活動に対する照会もいただいています。しかしながら、地震発生から数日を経た今も度重なる余震が続く中、関係者でも未だ被災地に足を運べない状況と承っています。日本連盟では、特に被害が激しい東北地方の関係県連盟と十分な連携をとった上で今後の対応を図ってまいります。現地のスカウト関係者ご自身が被災地に居住されている中での対応となりますので、十分な調整ができるまで若干の時間を要する状況であることをご理解ください。

日本連盟は、関係県連盟と調整ができ次第、全国の関係各位に改めて必要な情報を県連盟やホームページを通じてお伝えします。その段階になりましたら、スカウト関係者の皆さんはスカウト組織としての方針のもとで粛々と対応されますことを期待いたします。

皆様のご理解とご協力をお願いします。